

ほせだより2月

翁島小学校

引き続き、インフルエンザにご注意ください！！

本校において、インフルエンザ罹患者が数名出ています。体調を崩している人も増えてきました。町内においては、学級閉鎖をしている学校もあるようです。

学校では、「手洗い・うがい・教室の換気・マスク」等の予防を徹底しています。

ご家庭においても、予防の徹底をお願いいたします。

なお、5・6年生は、来週、「野口スキー大会」が行われます。注意が必要です！！

手洗い・うがい・換気・バランスのとれた食事・しっかりと睡眠をとる等の予防をし、体調管理をしっかり行ってください。



12月号に続き、第3回目は学校薬剤師の浅井甚一郎先生より【インフルエンザ】について執筆していただきました。

インフルエンザについて

1、インフルエンザとは

インフルエンザは毎年1月から2月に流行しやすい感染症です。

インフルエンザは突然の高熱や関節痛、筋肉痛、頭痛、全身倦怠感、食欲不振などの全身症状が現れるのが特徴です。その後咳、のどの痛み、鼻水、吐き気などの症状が現れる場合もあります。



2、インフルエンザの予防

- ・流行前のワクチン接種
 - ・マスクをして感染予防
 - ・外出後の手洗いうがい
 - ・室内の湿度の保持（50～60%）
 - ・バランスの取れた栄養摂取と十分な休養
 - ・人混みや繁華街への外出を控える
- などが予防の基本になります。



3、インフルエンザ治療薬の注意点（内服薬、吸入薬、点滴薬共通です。）

未成年の患者さんがインフルエンザの治療薬を使用した場合、異常行動が問題になります。急に走り出す、ウロウロする、うわごとを言う、幻覚が見える、理由なく怒り出したり泣いたりする、などの行動を起こす場合があります。

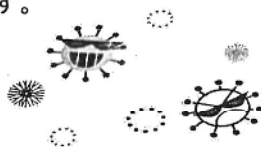
薬を使用開始してから少なくとも2日間は異常行動に注意が必要です。

対応策

患者を1人にしないこと、1階の部屋に寝せることなどです。

高層住宅の場合は外に飛び出さないように玄関や窓の施錠を確実にすることなどです。

インフルエンザ治療薬の使用をしなくても高熱による異常行動を起こす場合がありますので注意が必要になります。



学校薬剤師 浅井甚一郎